

# ガラス・建装時報

JAPAN GLASS NEWS

●本紙への情報提供、広告掲載、新聞購読など  
のお申し込みは編集部までお願いします。 本社編集部  
TEL 06(6763)3581 FAX 06(6763)3585

# アルミ建装版

## 帝人フロンティア

### 簡単施工の防煙垂れ壁

#### 取り扱い・施工業者募集も



⑤「テンションタイプ」の施工例⑥「パネルタイプ」の施工例(南関こどもの丘保育園)

帝人フロンティア(大阪市北区、日光信)社は不燃シート製防煙垂れ壁「かるかべ」を販売している。重量がガラス製の約10分の1と軽く、フレーム部材が落下しにくい構造で安全性が高い。施工が簡単で、シートのたるみを現場で調整できる。帯電防止機能を付与しているためほこりが付着しにくく、作業性が大幅に向上した。ガラス製に匹敵する業界トップクラスの透明度で、繊維・樹脂メーカーとして素材開発力を持つ強みを生かす。同社は施工業者を指し、各地域で販売・施工業者を募集している。



「かるかべ」ロゴマーク

現場で調整が可能  
国土交通大臣認定のガラスファイバー製不燃シートを使用。「パネルタイプ」「テンションタイプ」がある。パネルタイプは天井にレールを取り



⑤召古憲康繊維資材第一部大阪キャンパス資材課課長⑥大中原照吾氏

付け、シートを張ったアルミフレームのパネルユニットを設置する構造。

シートのたるみは「テンション調整ホール」のビスで調整可能。ユニットのサイズ変更も、現場で追加部品を使用せずに対応できる。不燃シート製は設置時にたるみやしわがでやすいことが難点。長年の使用でたるむこともあり、シートのたるみを現場で容易に調整できる製品の開発が求められていた。

「かるかべ」を採用した業者は「施工は施工要領書を見ながら簡単に取り付けることができた。何よりその場でサイズをカットできるの」で、さまざまな現場にその場で柔軟に対応できると感じた。シートの帯電防止機能が高いため、施工後も静電気によるほこりが付きにくく、安心して施工主さまに受け渡すことができた」と話す。

東日本大震災で天井が脱落する事故が多発したことを受け、国土交通省は2013年に建築基準法に基づく天井脱落対策の規制を強化。脱落によって重大な危険を生じる恐れがある天井を「特定天井」として、新築建築物にはつりボルトを増や

す、接合部物の強度を上げるなどの脱落対策を義務付けた。既存建築物にも防災拠点施設など、早急に改善の必要がある建築物についての改修指導などを実施している。

特定天井は6層超の高さにあり、面積200平方メートル超、1平方メートルあたり質量が2.5超のつり天井で、人が日常利用する場所に設置されているものを指す。つり天井の改修需要が増えることが予想される中、同社は落ちても安全な天井材が必要と考へ、軽量天井材「かるかべ」を開発し、2015年4月から販売している。ポリエステル樹脂系不織布を基材とし、1平方メートルあたり700gと石こうボードの約10分の1の軽さ。「かるかべ」を使うことで、特定天井に該当しない天井質量1平方メートルあたり2.5以下となる天井工法も開発した。不燃性、断熱性、吸音性を備え、採用物件が増えている。

同社は宿泊施設、大型商業施設などに安心・安全を提供する災害対策ソリューションとして、「かるかべ」を本格的に展開する。各地の防災・建築関連展示会に積極的に出展するなど、PRを強化。2月14日から3日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「新機能性材料展2018」にも出展する。2020年度に3億円の売り上げを目指す。



各地の展示会に出展しPRを強化する

同社は今後の超高齢化と意欲的だ。

担当の大中原照吾氏も「たかさんのパートナーを増やし、一緒に日本を安全な空間にしていきたい。どんなことでも気軽に問い合わせしてほしい」と意欲的だ。

問い合わせや発注は、「かるかべ」の専用サイト「かるかべ・JP」のメールフォームから申し込むか、繊維資材第一部大阪キャンパス資材課(06・62333・3154)まで。  
URL: <http://karu-kabe.jp>